

# 9部

## 3月卒業者アンケート結果

平成28年3月に本学通信教育部を卒業された方を対象にアンケート調査を実施しました。今後の通信教育部での学習にご活用いただけたらと思います。

### ●アンケートの概要

アンケートの回収状況は、社会福祉学科が124名、福祉心理学科が32名です(卒業生307名中156名、回収率50.8%)。本アンケートにご協力いただいた方の入学月は4月入学が141名、10月入学が15名であり、入学コースは1年次編入が29名、2年次編入が5名、3年次編入が120名です。

### ●アンケートの結果

1 通信教育部での学習は、職場や家庭などの日常生活で役に立っていますか。

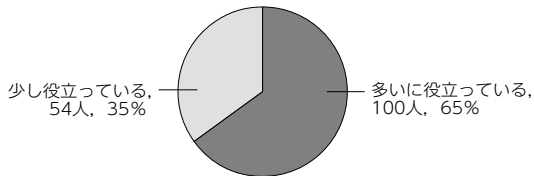


図1 学びがどの程度役に立っているか (N=154)

#### 【具体的な内容】

- ・入学前と比べ、自分自身の視野が広がり、自分の頭で考え、自分自身の見解を持つ習慣が身についた。また、様々な角度から物事をみることが多くなり、学んでいる福祉や心理学の視点からどう考えられるかと分析するようになった。
- ・今まで知らなかった福祉制度について学ぶことができたので、自分自身、また、周囲が困っている際に、必要な制度を活用することができた。
- ・クライアントとのラポール形成がうまく行き、何かあるといつも相談されている。
- ・職場で利用者と関わる際、自分の行動・発言の根拠を持つことができています。
- ・対人支援業務をしており、面接の際にカウンセリング技法を取り入れたり、ケースアセスメントの際に心理学的側面を把握する視点など、活用できていると思う。
- ・心理学を勉強することで自分自身と向き合うきっかけになり、これまでに感じていた生きづらさやモヤモヤしたものの正体に気づくことができた。また、色々な価値観や考え方があるということを理解できたことで、苦手な人

ともうまく付き合えるようになった。

- ・現在は職を離れて専業主婦で子育てをしているが、子どもを中心とした家族を考える中で、学んだことが頭をよぎり、冷静に考える機会を得ているような気がする。

その他のメッセージは通信教育部ホームページ（卒業者アンケート）、または前号の『With』116号 p. 66をご覧ください。

## 2 通信教育部で得た資格・学んだことを今後どのように活かしたいですか。

### 【福祉心理学科】

- ・人は一人一人みんな違うので、一人を理解しようと思った時、心理学を学んだことで、瞬時に生育歴や環境などその人をとりまくモノに目を向けられるようになったと思う。
- ・周りの人の個性を認めながら生活していきたいと思います。
- ・カウンセリングの考えを生かして、人に寄り添って生きていきたい。職場のメンタルヘルスに役立てていきたい。
- ・電話カウンセラーの現場で活用していきたいと思っています。そして、その後は対面カウンセラーとしても活動していきたいと思っています。
- ・精神的な病になり苦しんでいる人、様々な状況の中で苦しみを誰にも言えず抱えている人、育った家庭環境などが原因で犯罪を犯すに至ってしまった人たちの心の声を聴ける仕事に就ければと思う。

### 【社会福祉学科】

- ・「社会福祉士」として、生活困窮者の支援に関する仕事をしたいと思っている。
- ・近い将来、NPO法人（障害者を対象とした相談支援事業所）を立ち上げたいと考えている。
- ・地域の高齢者、障がい者の活動支援・ボランティア活動に活かしたい。
- ・かかわっているNPO法人において、利用者、家族、職員支援に活かしたい。

その他のメッセージは通信教育部ホームページ（卒業者アンケート）、または前号の『With』116号 p. 66～67をご覧ください。

### 3 卒業後の進路についてお聞きします。

1) 在学中・卒業後「卒業・資格・学んだこと」を活かし転職・就職・職場内異動・進学します(ました)か。(1つまたは2つ以内で○をつけてください)

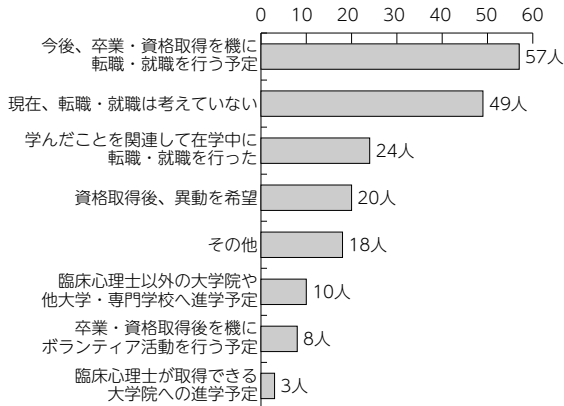


図2 転職・就職・職場内異動・進学の状況 (N=189 複数回答)

2) 転職・就職活動を行った(または行う予定の方)にお聞きします。転職・就職先の情報はどのような方法で得ましたか(得る予定ですか)。

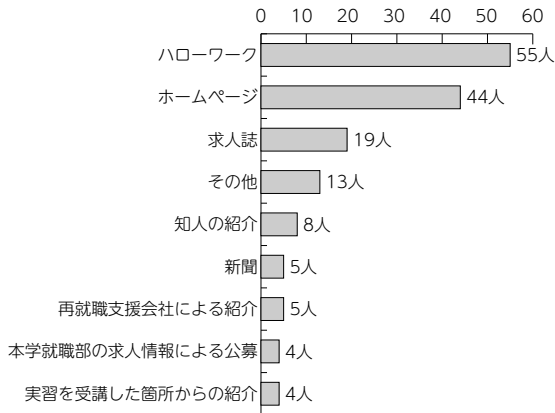


図3 転職・就職の情報収集先 (N=157 複数回答)

### 3) 就職・転職・職場内異動にあたってお気づきの点や在学生へのアドバイスがあれば、ご教示ください。

- ・実習指導者から仕事の紹介や斡旋があった。これは、大学で主体的に学び、スクーリング、レポート、実習、実習記録など常に真剣に頑張った結果としての成果だと思っている。また、どこでどのように就職に結びつくかはわからないが、人脈は大切だと思った。
- ・何においても自己アピールである。自分を知った上でのアピールであれば、精度の高いものとなる。自分から積極的に行動しなければ、チャンスは訪れないし、せっかくの機会を失うことになる。
- ・現在の転職市場は、かつての「若者のみ優先」から変化し、社会的キャリアを長年築いた人の「人間力」が期待されているように思われます。少なくとも、私自身はそこを買われて、福祉業界未経験でありながら、若者と一緒に採用試験を受け、正職員採用となった。
- ・ノリと勢いは結構大事！やりたいと思ったら行動してみることに
- ・社会福祉士の求人は8月～1月（2月・3月）にかけて増えてくるので、国家試験対策や実習と重なってしまうこともある。早期からの情報収集が非常に大切だと思った。
- ・就職・転職にあたり、キャリアアンカーの大切さを感じた。ワークライフバランス、給料、目標達成など、軸をしっかり持つべきだ。事務所ごとの価値観や職員の働きぶり・表情などに実際にふれて自分が受け止められるか検討することが大切だと思う。

## 4 学習全般についてお聞きます。

### 1) 普段どの程度学習しましたか。

#### ①学習の頻度

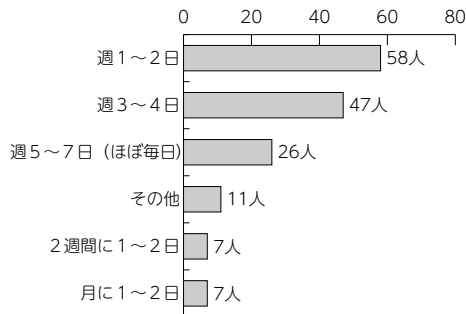


図4 学習の頻度 (N=156)

## ② 1週間の平均・合計学習時間

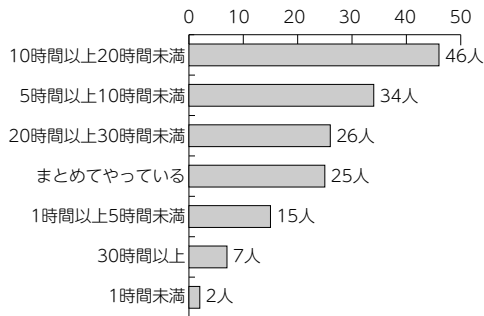


図5 1週間の平均・合計学習時間 (N=155)

## 2) レポート学習についてお聞きします。

- ① 1単位分のレポート課題に着手されてから完成に要する平均のべ時間はどれくらいですか。

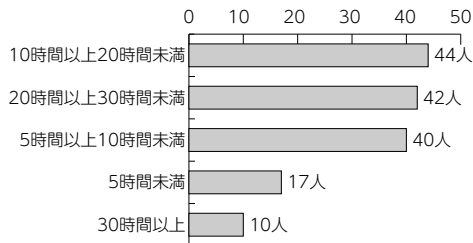


図6 1単位分のレポートの学習時間 (N=153)

- ② 「レポート学習」について在学生へのアドバイスがあればお教えてください。
- ・ レポートは何を書いたらいいか、どのように書いたらいいかを見つけるのが大変だが、箇条書きにしてみることで、少しずつ整理ができる。
  - ・ レポートに取り組む際、課題内容を把握し、何を求められているのかをしっかりと受け止めた上で、教科書やその他の文献を読み、考えをまとめていくことが大切です。
  - ・ 課題で問われている意味を理解するのに苦労した。
  - ・ 取り組む課題のテキストだけでなく、他の科目のテキストと交えて読むと理解が深まりました。「このことはあの科目のテキストにも書いていた」「この法律とこの法律は関連性が強い」などと気づき、スムーズにレポート作成に

あたることができました。

- ・参考文献として、掲載されている本を参考することもいいが、自分にあっている、内容を理解しやすい本を探し、参考にするとレポートが書きやすいと思う。
- ・良いものを書こうとすると、ツラくて進まなくなる。再提出覚悟でやるくらいの方が長続きする。これが理解できると課題は進むので、意味をよく理解することが大事だ。
- ・あまりに悩んでいるとズルズルと時間ばかり経ってしまい、出せるものも出せなくなるので、ある程度内容がまとまったと感じたら清書して提出する方がいいと思う。

その他のメッセージは通信教育部ホームページ（卒業者アンケート）、または前号の『With』116号 p. 48をご覧ください。

### 3) 科目修了試験についてお聞きします。

#### ① 1科目の科目終了試験準備に要した平均のべ時間はどれくらいですか。

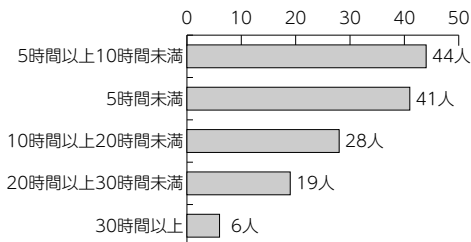


図7 1科目分の科目修了試験の学習時間 (N=138)

#### ② 科目修了試験準備等について在学生へのアドバイスがあればお教えてください。

- ・準備の際は、なるべく試験を想定して、その科目の重要語や定義などを文章で説明できるように練習しておくと思う。
- ・レポート課題集の各科目の到達目標を参考にして、予想問題をたて、試験時間内に回答できるように準備するとよい。
- ・問題用紙を持ち帰れるので、それを蓄積しておき、出題傾向をつかむこと。また友人との情報交換をすること。

その他のメッセージは通信教育部ホームページ（卒業者アンケート）、また

は前号の『With』116号 p. 64をご覧ください。

## 5 通信教育部の職員の対応についてお聞きします。

### 1) 窓口の職員の対応

### 2) 電話の職員の対応

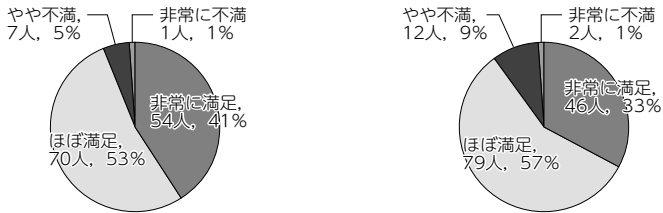


図8 職員の対応への満足度 (N=132~139)

◆多くのおほめや励ましの言葉をいただき、ありがとうございました。また、「やや不満」「非常に不満」などの理由を具体的に記載いただいたご意見は、再発防止に努めるように職員で共有しています。

## 6 10月生として学習するにあたって、不利だと感じたことはありませんか。

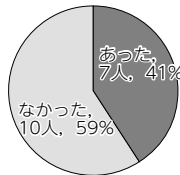


図9 10月生の感想 (N=17)

◆不利な点があったと回答した方の具体的な理由は、「履修登録時にスクーリングの日程が半年分しかわからない」「学習計画が立てにくい」「9月卒業だと実習期間が短く、事後指導が仙台でしか受講できない」などです。

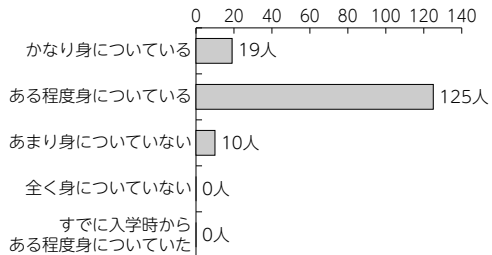
## 7 自己評定による「学士力」の達成度として、通信教育部での学びを通して現在あなた自身で身につけていると思うものについてお聞きします。 (主観的な判断で、一番あてはまるもの1つに○をつけてください)

### 1) 知識・理解など

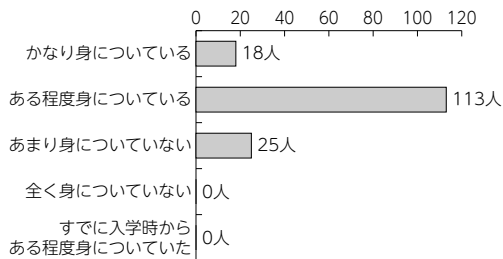
① (社会福祉学科の方) 社会福祉の意義と機能に関する基礎的知識。(福祉心



理学科の方) 人の思考・感情・行動の原理や法則, 理論について説明できる心理学の基礎的知識。

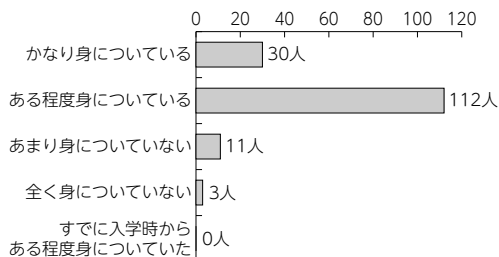


②さまざまな人が抱えている生活上の問題や心理的な問題への支援に利用できるなど現場でいかせる実践的知識。

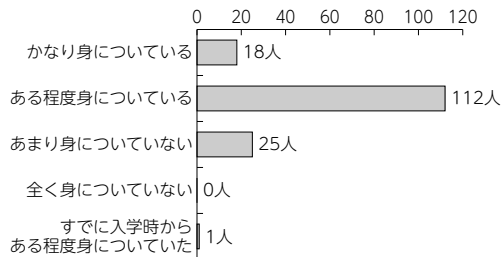


## 2) 汎用的技能など

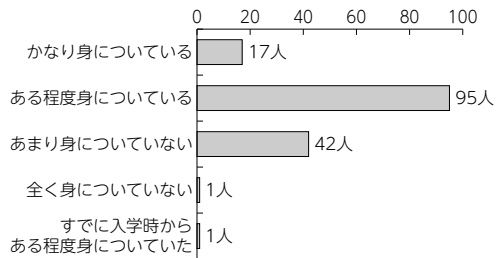
③多様な価値観を理解し, 自己とは異なる意見や考え方をもつ人々とコミュニケーションをとる力。



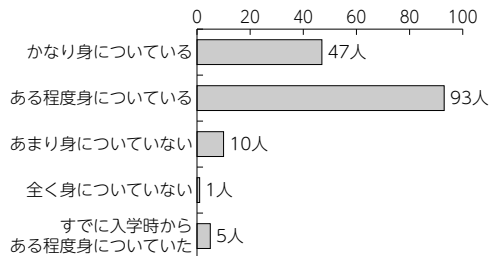
④求められるレポートや課題の趣旨を理解し、必要な情報を調査・選択し、わかりやすい文章で他者に伝える力。



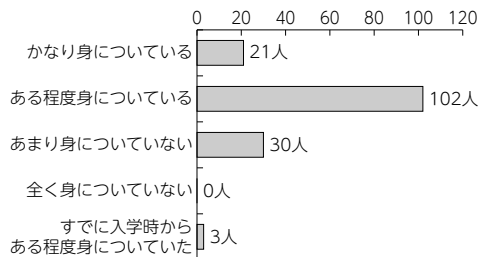
⑤根拠から結論を導き、自分の意見を筋道立てて論理的に表現する力。



⑥参考図書やインターネットなどを用いて必要な情報を収集する力。

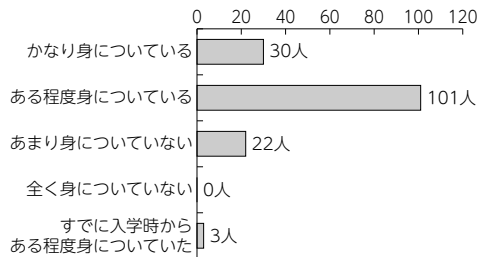


- ⑦自ら問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、問題を解決・調整できる基礎的な力。

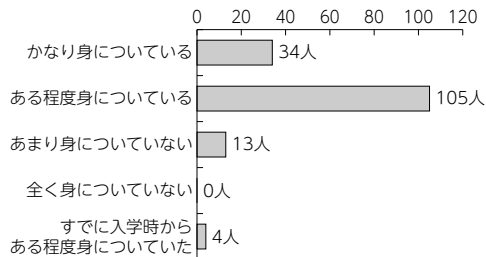


### 3) 態度・志向性など

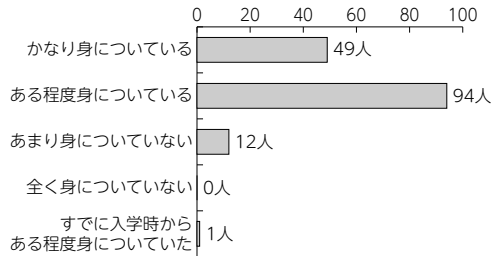
- ⑧時間の管理、感情や欲求の適切なコントロール、状況に応じた適切な行動など、自らを律する力。



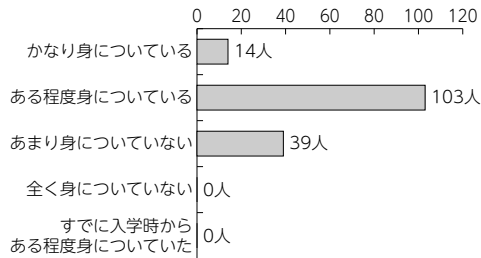
- ⑨他者を配慮しながら、目標と問題を共有したり、協調・協同して行動できる力。



⑩人間の尊厳や基本的人権を尊重し、人びとの幸せや地域・社会の発展のために積極的に関与しようとする姿勢。



⑪所属学科での学びを統合的に活用し、自ら課題を設定し、理論と実践を融合しながら解決策を導き出す力。



⑫自分に対する自信。

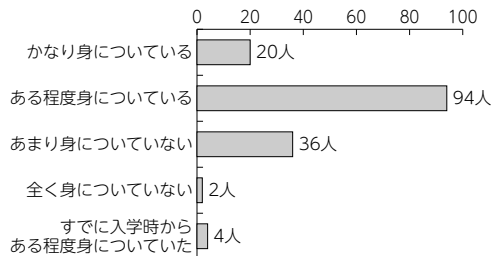


図10 学士力達成度合いの自己評定 (N = 154~156)

## 8 あなたは東北福祉大学通信教育部で学んで満足できましたか。

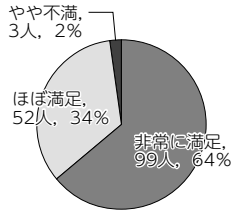


図11 総合的な満足度 (N=154)

## 9 通信教育部で学んだ感想や在学生へのメッセージをお願いいたします。

### 【やる気を失わないための工夫】

- ・卒業した自分を思い浮かべて頑張ってください。
- ・自分が心理学を学ぼうと思った目的を忘れないようにしましょう。
- ・目標を持ち続けモチベーションを維持することが大事だと思う。
- ・入学して、しばらくは大変だなー、レポート間に合うかなーと正直くじけそうなこともありました。しんどくなったら気分転換したり、オンデマンドを受けたり、仙台に行ってみたりと、自分なりに変化のある学習のスタイルを色々やってみたことで継続できたことも大きかったと思います。
- ・仕事をしながらは大変ですが、私は学んだことをすぐ次の日に試してみたり、実践につなげたりすることもおもしろかったので、途中からはどんどん学ぶことが楽しくなりました。
- ・勉強していてわからなくなったら基礎に戻りましょう。それでもわからなかったら、質問しましょう。
- ・スクーリングや科目修了試験を受けることで、勉強している社会人がこんなにも多いのかということを知り、自分自身も奮起させてもらえた。

### 【スケジュール管理が大切】

- ・入学月より「締め切り一覧、申し込み一覧」みたいなものを作ると学習を進めやすい。
- ・通信教育部で一番大切なことは、年間スケジュールの組み方だと思った。ひと月に何教科取り組むのかを予め決め、定期的なレポートに取り組むことがスムーズな学習と意欲にもつながった。
- ・実習要件を満たすためのノルマと締め切りは、まさに過酷な試練だった。しかし、この試練を乗り越えるためには、徹底したセルフ・マネジメント能力が必要であり、試練の中で私は、自分自身すらマネジメントできない人間が、将来専門職として他人をマネジメントできるはずがない、と思うに至り、過

酷な勤務の合間の過酷なノルマ・締切との戦いは、私の人間力を飛躍的に高めてくれた。

#### 【スクーリングに参加しよう・仲間をつくろう】

- ・スクーリングが楽しみだった。何か1つ、心にくるものがあれば大収穫だと思っていた。参加したスクーリング全てがよい思い出です。
- ・入学当初は不安だらけでしたが、実験やカウンセリングなどのスクーリングを通して顔見知りが増え、帰ってからも連絡を取り合いながら勉強を進めることができました。
- ・あきらめずにやり遂げられたことで、自信につながる事ができた。
- ・演習では高齢者、障害者などの現場で働いている人がほとんどで、さまざまな問題事例など、情報交換することができ、大変勉強になった。
- ・スクーリング、演習などでたくさんの仲間が増え、幅広い年齢層でさまざまな職種の方々と出会い、メールなどで励ましあいながら、時には仙台の夜を満喫しながら、現場の話や学習の話などをしたことは、相談援助をする私にとっては、気持ちが楽になったように思った。
- ・大きな財産である学友を得ることができた。通信教育部の学生の方々は年齢層の幅が広く、互いに多くのことを学ぶことができた。互いに励まし合ったり、レポートに関するアドバイスをもらうなどして卒業までこぎつけることができた。福祉大で得たもっとも大きな財産は「学友」。この一言に尽きる。

#### 【レポート学習・オンデマンドなどについて】

- ・1、2年次はなかなかペースがつかめず、心理学の言葉にとまどいを感じたが、とにかくレポートを提供することを続けていくことで、自分を励ました。再提出の時はショックを受けるが、先生方のあたたかい言葉にも励まされた。
- ・レポート学習は、軌道にのるまで時間がかかった。卒業する頃になって、ようやく書き方が身についてきたように思う。
- ・オンデマンドスクーリングは、何度もくり返し視聴することができ、理解を深めることができるので、とてもよい学習の1つだと思う。
- ・オンデマンドで視聴する中でも先生方の人間的な面が垣間見え、勇気付けられる気がいたしました。

#### 【困難を乗り越えて】

- ・私のように一年次入学でも、時間がかかっても卒業することはできること、時間がかかって卒業することが恥ずかしいことではないことを在學生に伝えたい。また女性の中には在学中に私と同じように妊娠、出産、育児を経験される方もいるかもしれないが、周囲の協力を得ながら実習や国家試験を受験することもできたので、諦めず自分のペースで頑張してほしい。

- ・レポートに苦戦した時、何度も「なぜ勉強なんて始めてしまったんだ」と思うことがありましたが、スクーリングで少しずつ知り合いが増え、レポートの先生のメッセージを読み、励まされながら、最後には本当に充実感がいっぱいになりました。
- ・学習は、時に苦しく、自分との戦いだが、その中で自分なりに感じたこと、考えたこと、学んだことの一つひとつを大切にしてほしい。それらは必ず自分自身を成長させてくれる。卒業生として応援しています！
- ・在学生のみなさんは、それぞれ何か目的をもって、通信教育部に入学されたことと思います。仕事、家庭生活との両立は大変だと思いますが、「初志貫徹」です。学べる環境があること、支えてくれる周りの人々に感謝の気持ちを忘れずに、ゴールを目指して頑張ってください。
- ・卒業までの道のりは、とても長く努力が必要でした。途中、何度もくじけそうになり、特に不可のレポートや科目は心が折れそうになります。しかし、いつの日かの卒業を目指して必死に頑張りました。生半可なことでは達成できません。決して諦めずに卒業してください。
- ・在学生の皆様へ たくさんの夢や希望をもって東北福祉大学に入学された皆さんの中には「レポートが書けない」「再提出になってしまった」「学習時間の確保が難しい」「孤独を感じる」等の悩みを抱えている人がいるかもしれません。お一人お一人がそれぞれの環境の中で学習していると「もうダメだ。」という壁にぶつかる日もあると思う。そんな時は、入学した当初のキラキラした気持ちを思い出してほしい。

#### 【学習の醍醐味を味わいながら】

- ・通信教育部での学習は、自分自身の人生の幅を広げる良い機会であった。それぞれの教員方が講義を通して伝えたいことが自分のこれまでの経験に合致する内容であったり、ハッと気づかされる内容であったりと、考えを深めたり、見つめ直すことができた。
- ・正解のない社会福祉の世界では、スクーリング、レポート、試験、そのどれもが私にとって学びの機会だった。そしてそれらが形となるのが、評価なり合格である。考え方を学ぶことや考え方を考えるということが、その後の私の人生に大きな影響を与えるのではないかと考えている。

10 「実習」において「学び残した点」等があれば具体的にお書きください。

- ・1ヶ月の中で限りはあるが、実習でやりたいと思うことをたくさん要望した方がよい。できるもの、できないものがあり、できなくても、それは自分で後日やればよい。
- ・限られた実習期間でごく一部の高齢者とコミュニケーションを図ってきたが、他の高齢者とはコミュニケーションを図れないでお互いをよく知らないまま実習を終えてしまったことが心残りでした。
- ・財務や経営についてもっと学んでおけばよかった。「福祉」的なことばかりに目をうばわれるが、それを支える基盤を知ることが大切であると思う。
- ・アセスメント・プランニングの時間がとれなかったので、自主学習の時間に自分なりに学習すればよかったと思う。
- ・ソーシャルワークの体系的なことについての学びが薄かった。未だに、実習で何を学んでくればよかったのかが、よくわかっていないかもしれない。
- ・具体的な目標を抱いて臨むべきでした。実習へ入る前から勉強をしていれば、実習などにおける質問内容も変わったかもしれない。

11 今後実習を行う在学生へのメッセージ・アドバイスがあればお聞かせください。

- ・時間は厳しく守ってください。体調（心身ともに）は、しっかり管理してください。楽な方へ流されないでください。「だろう」で手を打たないでください。職員にも、利用者さんにも、そして自分自身にも「言い訳」をしないでください。
- ・実習を行うにあたっては、明確な目的をもって取り組むことに尽きると感じた。それを見つけるのも日々の学習の一つであるとも感じる。
- ・実習を行うことで自分の目指す姿が具体的に浮かんできます。記録は大変ですが、一生の宝物となります。頑張れば自分のためになります。「自分を信じてひたすら進む！」応援しています！！
- ・実習では朝から夕方まで動いた後に一日の記録を作成する必要があるため、メモをとる際は単純に知り得た事実と一日の流れを書くだけでなく、それに対して気づいたことや自分の考察などを空き時間に整理しておくことと決められた時間に実習記録をまとめやすくなると思いました。
- ・実習中の実習記録では、与えられたプログラムの中で自分なりに疑問を持つことで充実した1日となり、自分の中で勉強になったこと、気づいたことを書きとめておくと、困ることなく書き上げることができると思います。
- ・実習中は、その日の予定されている。実習内容について、ある程度、自分なりのテーマを決めてから臨むと、実習での学びがぶれないし、記録が書きや



すい。

- ・どんな体験をするにせよ、まずは実習生として受け入れてくださったことに対する感謝の気持ちを忘れずに。
- ・できる限り、スーパーヴィジョンの時間を作ってもらってください。本当に目からうろこです。あとは、担当者に思い切り質問をしちゃってください。
- ・毎日自分で目標を持つこと。ハウレンソウをしっかりとる。自分に対する指摘を学びのチャンスととらえる。
- ・実習先には具体的な活動指示やメニューがありますが、多角的な視点で何かを発見しようとする学習姿勢で臨むとよいと思います。
- ・不満があっても有意義な時間に変えるのは自分である。すべて自分次第。受け身では限られたことしか学べない。
- ・実習は不安が大きいと思うが、仲間はあるし、講師も事務局も相談ののってくれる。貴重な体験となり、今後の自分の大きな力になると思う。気づきの視点・相談に応じる能力はどの分野・ポジションでも重要である。貪欲に実習に臨むとよい。
- ・計画通り、思い通りにならないことばかりだと思うが、そんなときは気持ちを変えてみるとよいと思う。休日は意識的に気分転換をしてリフレッシュするなど、実習のために心身を休めるとよい。
- ・実習前に、①どのような施設なのか、②施設の組織と人的配置、③実習指導者の仕事内容などは、最低、把握しておいたほうがいい。特に、人的配置は、多種業務を行っている施設では欠かせない。
- ・実習先で行われるイベント・催し物・講演会には、できるだけ出席したほうがよい。施設の理解だけでなく、地域の課題も見えてくる。
- ・実習中に、色々と参考文献を調べるのが難しいので、実習先の分野に関する参考文献資料はできるだけ、実習が始まる前に集めておく。
- ・実習や就職したい分野に捉われず、興味ある文献・資料を読むことで、より自分らしい実習ができると思います。おすすめの文献：能倉 信宏「面接法」新興医学出版社2002、奥川 幸子「未知との遭遇 癒しとしての面接」三輪書店1997

このほかにも多くのメッセージをいただいておりますが、すべてをご紹介できませんでした。通信教育部ホームページ（卒業生アンケート）などもご覧ください。

ご協力いただいた卒業生の皆様に感謝申し上げますとともに、今後のご活躍を祈念しております。

